

2017年 プログラム近況報告

モンゴル ハイラアスト地域開発プログラム

ご支援によりハイラアスト地域の子どもたちの生活が改善しています



ハイラアスト地域開発プログラム マネージャー
ムンカバイヤ・バヤスガラン

ハイラアスト地域の子どもたちの生活改善をご支援くださり、誠にありがとうございます。今年最大の成果は、5歳未満の子どもたちの健康と栄養状態を改善できたことです。多くの母親が、子どもたちの養育方法やより良い食事の与え方を理解しました。また、栄養不良だった173人の子どもたちが治療を受け、回復しました。

一方、最大の課題は地域に青少年グループを作り、グループを導くために訓練を受けた教師を確保することです。皆さまの尊いご寄付と温かいご支援により、すべての子どもが豊かないのちを生きることができるよう、これからも地域の人々とともに働きを続けてまいります。



ハイラアスト地域での主な成果

健康状態が改善しました

家にも学校にもトイレができ、子どもたちが病気にかかりにくくなりました。

50世帯のトイレが修繕され、学校にも新たに16のトイレが設置されたことにより、1,990人以上の子どもたちが以前よりも衛生的なトイレを使えるようになりました。



チャイルドの絵
(ツェヴェルスレン、16歳)

教育を受けました

より多くの子どもたちが災害時に安全を確保する方法を知りました。

1,700人以上の生徒が防災の講習会に参加し、災害時に身を守る方法を学びました。

若者が将来のための計画の立て方を学んでいます。

535人の子どもたちが、リーダーシップやコミュニケーションスキル、意思決定能力を養う講習会に参加しました。



チャイルドの絵 (サムダン、16歳)

地域の人々の中で大切に保護されて成長しました

より多くの子どもたちが、自分たちを取り巻く問題について発言するようになっていきます。

自分たちの健康に影響する学校内の問題について、約160人の生徒が、学校のリーダーに意見を述べる機会を持ちました。この結果校舎が修繕され、新しいトイレが設置されました。



チャイルドの絵
(カンガラースラン、9歳)

価値ある存在として尊重され愛情を受けました

家庭が子どもたちの基本的な必要を満たせるようになりつつあります。

ボランティアが毎月、困難な生活状態にある152人の子どもたちを訪問し、暖かい衣服と十分な食べ物があるかどうか確認しています。この訪問の結果、就学前教育を受けていなかった17人の子どもたちが幼稚園に入園しました。また35人の子どもたちが暖かい衣服と食料を受け取りました。



遊牧民の子どもたちの乗り物は馬だけではなく

「私は低体重の子どもを持つ親のための栄養講習会を実施しました。親が健康な子どもたちを育てられるように支援することができ、誇りに思います。」

スレンコロローさん（地域保健ボランティア、左から3番目）



「貯蓄グループで貯蓄の方法を教わり、商売を拡大するための資金も貸してもらえました。今では3人の孫を食べさせるだけの収入を得ています。」

エルデネビレグさん
（地域の貯蓄グループのメンバー、写真右のピンクの服を着た女性）



「ぼくは、学校の安全を評価し学校長に可能な改善策を提案する生徒のグループで、リーダーをしています。ぼくたちの最初の提案は校舎の窓の修繕でした。」

ルヴサンシャラウ君
（18歳、写真左）



「子どもジャーナリズムグループに加わり、スピーチやビデオ制作、写真撮影などの方法と、皆で力を合わせることを学びました。」

イシドルジ君（16歳、赤い帽子の男子）





チャイルドの絵
(ウーガンジャーガル、14歳)

地域社会のお手本

「今年、ぼくはクラスの友だちと一緒に地域のアドボカシー活動に参加しました。この活動を通して、地域の診療所に要求されている保健や環境の基準について学びました。ぼくたちの地域の診療所がこれらの基準を満たすために、地域のリーダーにいくつかのことを提案しました」と話すのはバーサンバヤール君（17歳）です。

「ぼくのグループは、環境に配慮するための基準について調べました。この基準によると、診療所の敷地の60%は緑地でなければならないとあります。そこで、友だちと一緒に診療所の周りに木を植え、地域の人々にも木を植えるように働きかけました。

この活動に参加するまで、診療所が一定の基準を満たさなければならないとは知りませんでした。地域のリーダーがぼくたちの提案に耳を傾けてくれて、とても嬉しいです。一歩大人へと成長したような気がします。アドボカシー活動はぼくたちにとって良い機会でした。」



友人たちと一緒に地域の診療所に木を植えたバーサンバヤール君（17歳）。地域の良いお手本になりました

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

電話：03-5334-5351（平日9:30～17:00）

e-mail：dservice@worldvision.or.jp

ホームページ：www.worldvision.jp

背景に使われているチャイルドの絵「ゴビ砂漠のラクダ」
(ビルグーデイ、14歳)



プログラム番号
MOG-181425

モンゴル ハイラアスト地域開発プログラム (MOG-181425)
2016年度 (2015年10月1日-2016年9月30日)

会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	49,302,930
前期からの繰越額	-582,380
プログラム支援額合計	48,720,550

プログラム支出額	
経済開発プロジェクト	12,244,395 ●
保健衛生プロジェクト	10,799,342 ●
教育プロジェクト	10,493,503 ●
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	12,743,192 ●
プログラム支出額合計	46,280,432
次期繰越額	2,440,118

活動内容



経済開発プロジェクト

- ・貯蓄グループの設立・活動支援
- ・起業・収入向上支援
- ・寒雪害における防災対策活動



保健衛生プロジェクト

- ・子どもの栄養改善やケガ・事故防止
- ・水衛生についての啓発教育
- ・学校の衛生設備の整備
- ・保健サービス改善のためのアドボカシー活動



教育プロジェクト

- ・貧困家庭の子どもの学習支援
- ・障がい児支援
- ・子ども・青少年クラブの活動支援

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- ・手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
- ・チャイルドの定期的なモニタリング
- ・「子どもを中心とした開発」についての啓発活動
- ・地域の子ども福祉委員会や地域の家庭訪問担当者による見守り活動